

ユニバーサル社会づくり第6次兵庫県率先行動計画 -取組実績-

- 1 目的** ・多様なニーズに応え、質の高い県民サービスを行うユニバーサル県庁の確立
 ・県の率先プロジェクトを市町、企業、団体、NPOなどの多様な主体に普及
- 2 対象** 知事部局、議会事務局、各種行政委員会事務局、警察、企業庁、病院局
- 3 期間** 令和元年～3年度（3年間）
- 4 特徴**

- (1) **職員一人ひとりが取り組む県民サービスの向上に向け、実施項目の目標を設定**
- ・全所属が実践し100%達成すべき項目として、「**必須項目（10項目）**」を設定
 - ・職場の状況等を踏まえ、個々の職場で実践する「**独自項目（3～4項目）**」を設定
 - ・項目の達成に向けて、事務局において、研修、マニュアル作成、情報提供などを実施
 - ・各部局総務課副課長、県民局総務担当室長補佐等をUSリーダーとし、進行管理を実施



- (2) 県庁から多様な主体へユニバーサル視点からの取組を広げる行動項目を設定
 ・具体的、実践的なモデル事業（10事業）を「**率先プロジェクト**」と設定し実施

5 令和3年度の実施状況

- (1) **必須10項目**は、「④管理・監督職は点字名刺を常備」「⑦視聴覚障害者が参加するイベント等での情報配慮の実施」をはじめ10項目全て100%を達成した。
- (2) **独自項目**は、100%達成項目が昨年度から6項目増加し、13項目中11項目となった。
 「④施設にバリアフリー情報を記した案内表示を掲示」「⑧職員全員が点字名刺を1枚以上所持」が、100%を達成しなかった。

必須10項目	R2年度(N=507)		R3年度(N=509)		事務局の取組
	実施所属	実施率	実施所属	実施率	
意識	506	100%	509	100%	○職場研修に活用できる県職員向け手話動画を制作（ひょうごチャンネルに掲載） ○毎月1回、メールマガジン「ユニバーサル通信」を発行 ○毎月の庁内放送によるユニバーサル施策発信と意識醸成 ○ヘルプマークのポスター掲示 ○US推進リーダー研修を、参集方式でなく、資料送付に代えて実施
①だれにもやさしい県庁づくりのための研修を実施					
意識	507	100%	509	100%	○ユニバーサル社会推進掲示板に掲示し、各部署推進委員長及び地域推進本部長を通じ周知 ①配席表のサンプル ②補助犬の受入マニュアル ③耳マーク、手話マーク等の掲示
②職場内や来庁者に対する気持ちのよい対応 ・積極的な挨拶、丁寧な電話対応 ・事務室入口等での来庁者への声かけ ・ヘルプマークを身につけた方への思いやりのある行動					
表示	507	100%	509	100%	○ユニバーサル社会推進掲示板に掲示し、各部署推進委員長及び地域推進本部長を通じ周知 ①点字ラベラーの設置窓口 ②コミュニケーションボードのサンプル ③障害者等向けコミュニケーション支援アプリ搭載タブレット及びマニュアル
③事務室入口のマーク等の掲示 ・補助犬マーク・耳マーク、手話マーク(県庁) ・B4・A3版カラー表示の配席表・業務説明 ・課室名の表示板に点字ラベルを貼付					
環境	507	100%	509	100%	○県主催イベントでの情報配慮 ①手話通訳者の派遣 ②要約筆記者の派遣 ○手話ハンドブック・要約筆記リーフレットの制作
	507	100%	509	100%	
	493/493	100%	495/495	100%	
④管理・監督職は点字名刺を常備					
⑤障害者等とのコミュニケーションを円滑にするコミュニケーションボード、タブレット端末や筆談用具を配置					
⑥物品・役務等の優先調達の実施					
情報配慮	38/38	100%	51/51	100%	○ユニバーサル社会推進掲示板に掲示し、各部署推進委員長及び地域推進本部長を通じ周知 ①ヒアリンググループの設置窓口リスト及び使用マニュアル ②ワード・エクセルの初期設定(12ポイント)の具体的な変更方法 ③カラーユニバーサルデザインに配慮した印刷物の作り方
	507	100%	509	100%	
	422/422	100%	433/433	100%	
	507	100%	508/508	100%	
⑦視聴覚障害者が参加するイベント等での情報配慮の実施（手話通訳・要約筆記・ヒアリンググループ、点字・拡大資料等を準備） ※イベント実施所属のみ					
⑧12ポイント以上で文書・メール等を作成					
⑨ユニバーサルデザインに配慮した印刷物・ホームページ等を作成 ※広報刊行物がある所属のみ					
⑩通知文書や印刷物等にFAX番号、メールアドレスを記載					

独自項目	R2年度(N=507)		R3年度(N=509)				
	実施所属(a)/設定所属(b)	設定率 b/N	実施率 a/b	実施所属(a)/設定所属(b)	設定率 b/N	実施率 a/b	
意識	職場の状況を踏まえ、個々の所属で実践する項目						
	①手話研修の実施	40/41	8%	98%	34/34	7%	100%
	②障害者・高齢者疑似体験研修の実施	12/16	3%	75%	9/9	2%	100%
表示	③外国語で簡単な案内ができるための研修を実施	23/27	5%	85%	18/22	4%	82%
	④施設にバリアフリー情報等を記した案内表示を掲示	153/153	30%	100%	161/161	32%	100%
	⑤イベント等ではわかりやすい案内表示を掲示	242/242	48%	100%	264/264	52%	100%
環境	⑥受付等に見やすい施設案内図・パンフレットを配置	321/321	63%	100%	330/330	65%	100%
	⑦大きさや形を工夫した吊り下げ名札の併用	263/263	52%	100%	267/268	52%	99%
	⑧職員全員が点字名刺を1枚以上所持	112/112	22%	100%	106/109	21%	97%
情報配慮	⑨歩行が困難な方にやさしい通路を確保	441/441	87%	100%	452/452	89%	100%
	⑩物品・役務等の優先調達の増加（件数・金額を前年比で増）	92/96	19%	96%	89/89	17%	100%
	⑪外国語による各種資料を作成	51/51	10%	100%	44/44	9%	100%
	⑫案内パンフレットやホームページにバリアフリー情報等を掲載	97/97	19%	100%	94/94	18%	100%
⑬映像DVD等を作成する場合、字幕や副音声を挿入	14/14	3%	100%	17/17	3%	100%	